

「令和6年度 研究助成による成果報告会」開催について

一般財団法人 日本鉱業振興会

一般財団法人日本鉱業振興会は、標記の成果報告会を11月8日(金)に開催を予定しております。

本年度は対面と Web 会議システム「Zoom ウェビナー」を併用したハイブリッド開催といたします。講演会場での聴講は申し込みの必要がありませんので直接会場へお越しください。

なお、「Zoom ウェビナー」での参加をご希望の方は、下記 URL へ10月31日(木)までにご登録下さるようお願い申し上げます。

<日 時> 2024年11月8日(金) 9:30~17:00

<参加申込先>

URL : https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_rxgC4FP6TBK1EfAA5frQuA

◎登録事項 氏名・所属(会社名・部署・役職)・E-mail アドレス

<問合せ先>

一般財団法人 日本鉱業振興会 担当：五十嵐

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-17-11 榮葉ビル 8階

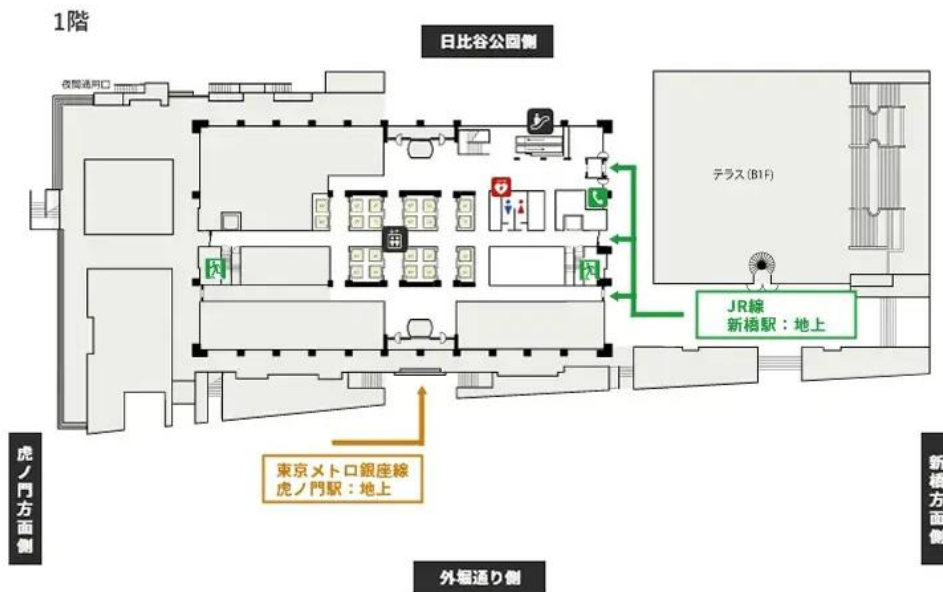
Tel : 03-5280-2341 E-mail : sigarashi@kogyo-kyokai.gr.jp

<講演会場>

日比谷国際ビルコンファレンススクエア (8階)

東京都千代田区内幸町 2丁目 2-3 TEL : 03-5157-5039





【交通】

都営地下鉄 三田線 内幸町駅 A6 出口方面地下道直結 徒歩 1分

都営地下鉄 三田線 内幸町駅 A7 出口より徒歩 1分

東京メトロ 千代田線／日比谷線／丸ノ内線 霞ヶ関駅 C4 出口より徒歩 3分

↓詳しくはHPでご確認ください

[アクセス | 日比谷国際ビル コンファレンス スクエア \(hibikoku.tokyo\)](http://hibikoku.tokyo)

一般財団法人日本鉱業振興会助成による研究成果報告会プログラム

開催日： 令和6年11月8(金)

会 場：日比谷国際ビルコンファレンススクエア ルーム8F

東京都港区内幸町2丁目2-3 日比谷国際ビル8階 Tel:03-5157-5039

(発表予定者)

9:30～ 9:35		報告会開会挨拶		
9:35～ 9:55	1.	環境資源循環ハイドロメタラジーのための調査研究	早稲田大学	笹木 圭子
9:55～10:15	2.	陸域鉱床情報と数値シミュレーションをガイドとした海底金属資源濃集過程のマルチスケール解明	兵庫県立大学(院)	後藤 忠徳
10:15～10:35	3.	鉱山跡地の汎用的な緑化に寄与する植物の重金属耐性機構の解明	森林研究整備機構	春間 俊克
10:35～10:50	＜ 休 憩 ＞			
10:50～11:10	4.	金属鉱物資源評価を目的としたTDIP法電気探査技術の高度化に関する研究	資源部会(産業技術総合研究所)	小森 省吾
11:10～11:30	5.	休廃止鉱山のグリーン・レメディエーション推進のための調査研究	環境保安部(北海道大学(院))	富山 眞吾
11:30～11:50	6.	鋼構造建築物における溶融亜鉛めっき割れに対するめっき浸漬速度の影響に関する調査研究	神戸大学(院)	田中 剛
11:50～13:05	＜ 昼 休 み ＞			
13:05～13:25	7.	銅めっき及び着色処理を施した銅材の殺菌性評価	(一財)北里環境科学センター	菊野理津子
13:25～13:45	8.	物理解析手法を用いた銅及び銅合金の殺菌性発現のメカニズム解明	大阪公立大学(院)同志社大学	川上 洋司 廣田 健
13:45～14:05	9.	海域における銅の環境リスクと効用の比較評価に基づく管理・対策のあり方に関する研究	産業技術総合研究所	内藤 航
14:05～14:25	10.	高輝度青色半導体レーザーを用いた純銅の高速コーティング技術の開発	大阪大学	東野 律子
14:25～14:40	＜ 休 憩 ＞			
14:40～15:00	11.	東北日本に産する新第三紀酸性マグマの形成年代・形成プロセスの制約と鉱脈型鉱床形成との関連性の解明	秋田大学(院)	青木 翔吾
15:00～15:20	12.	後方散乱電子線回折法を用いた鉱石組織解析と硫化鉱物の晶出過程の解明	東北大学	栗林 貴弘
15:20～15:40	13.	マンガン鉱床の岩石磁気・古地磁気研究	富山大学	川崎 一雄
15:40～15:55	＜ 休 憩 ＞			
15:55～16:15	14.	高解像度局所硫黄同位体分析のための標準鉱物試料作成とその応用	早稲田大学	野崎 達生
16:15～16:35	15.	東北日本弧における新たな潜頭性巨大マグマ熱水系の復元	秋田大学	渡辺 寧
16:35～16:55	16.	潜頭性鉱床における交代生成説の実験的検証	東京大学(院)	高谷雄太郎
16:55～17:00		報告会閉会挨拶		

※報告時間:20分(発表時間:15分、質疑応答:5分)